

道の駅たるみずはまびら 2周年記念感謝祭 様々なイベント開催に多くの人で賑わう



1 / 多くのお客様で賑わう様子 2 / 大好評だったお楽しみ抽選会
3 / 本館2階での petit ギャラリー 4 / 海岸沿い景観を楽しむ様子
5 / 姫甘えびのプレゼント

11月22日、23日の2日間、開駅2周年を迎えた道の駅たるみずはまびらで、記念感謝祭が開催されました。日頃の感謝を込めた各店舗での記念セールや、お楽しみ抽選会などの様々なイベントが行われ、多くの人で賑わいました。さらに、地元特産のとんとこ漁で獲れた姫甘えびや、施設の花壇を整備しているダマスクの風から花苗のプレゼントもあり、訪れたお客様からは、「とてもいい企画だと思います」「いっぱい店があって楽しかった」「景色が綺麗でビックリしました」などの感想がありました。開駅から2周年を迎え、ますます地域の拠点としての力が発揮される「道の駅たるみずはまびら」今後も多くの皆様のご利用をお待ちしております。

11月24日、垂水校区合同金婚式が文化会館で開催されました。金婚式は、結婚50年目を祝うもので、垂水校区の合同金婚式は、昭和61年頃から行われています。今年は、同校区で15組のご夫婦が金婚式を迎えられ、当日は、田中和海さん・クニ子さんご夫婦（上犬之馬場）、末松慶四郎さん・静子さんご夫婦（下宮町）が出席されました。会場では、夫婦の絆を確かめ合う固めの盃や記念品贈呈、祝儀舞が披露され、夫婦のますますの幸せを祝いました。



結婚50年を祝う
垂水校区合同金婚式

未来の地球と私たちの暮らし & エコバッグ作り



11月21日、「未来の地球と私たちの暮らし & エコバッグづくり」が垂水市市民館で開催されました。これは、将来を担う子どもたちが、環境問題や環境保全に関心を持ち、行動するきっかけづくりを提供するため、鹿児島県が「学ぶ環境体験学習塾」事業の一環で実施したものです。参加者は地球温暖化が地球に与える影響などを学んだあと、オリジナルのエコバッグを作成しました。終了後には、「こまめに電気を消す・マイバッグを持参したい」などの前向きな感想が聞かれました。

11月23日、協和地区公民館で、恒例の赤ちゃん土俵入りが行われました。これは、豊年と赤ちゃんの健やかな成長を願うもので、協和地区の伝統行事となっています。今年は、12名の赤ちゃんが力士役の住民と土俵入りし、それぞれの名前の書かれた色紙に手形・足形を押し、破魔矢などの縁起物が家族に配られました。赤ちゃんたちが土俵入りした周りでは、家族や地域の方々の歓声や笑顔が溢れ、温かい空気に包まれていました。



協和地区伝統行事
赤ちゃん土俵入り

立山隆一さん 垂水市に寄附金



▲左から立山益子さん、立山隆一さん、長濱副市長

11月12日、京都府で近江クーパレジ株式会社を経営される立山隆一さんより寄附金をいただきました。寄附のきっかけは、立山さんの祖父で、会社の創業者である源丞（げんのじょう）氏の故郷が垂水市中俣だと聞き、今宮神社を訪れた際、灯籠に祖父の名が刻まれており、会社の創業が100年を迎える年での発見に大きな縁を感じたとのことでした。立山さんは「ご縁のある垂水市の発展の為に役立てていただければ」と話されました。ご寄附ありがとうございました。